

# 経営ビジョン2030実現に向けて

九電グループでは、「経営ビジョン2030」及び「カーボンニュートラルビジョン2050」の実現に向け、財務目標(2025年度)を設定するとともに、具体的な実行計画として「中期経営計画(毎年ローリング)」を策定し、着実な取組みを推進しています。

中期経営計画(5か年、毎年ローリング)  
財務目標(2025年度)

経営ビジョン2030  
経営目標(2030年度)

カーボンニュートラルビジョン2050  
カーボンマイナス早期実現

## 「経営ビジョン2030」実現に向けた財務目標

経営ビジョン実現に向けた中間目標として、以下の観点から2025年度をターゲットとする財務目標を設定

◆「国内電気事業」「成長事業」での利益確保・拡大に挑戦

◆「財務体質改善」「株主還元の充実」「成長に向けた投資」のバランスを重視

視点	財務目標(2025年度)
収益性	連結経常利益:1,250億円以上 ・国内電気事業:750億円 ・成長事業 :500億円
財務健全性	自己資本比率:20%程度

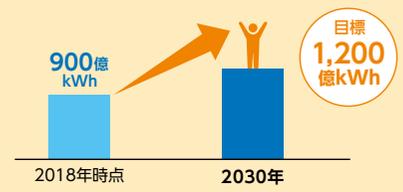
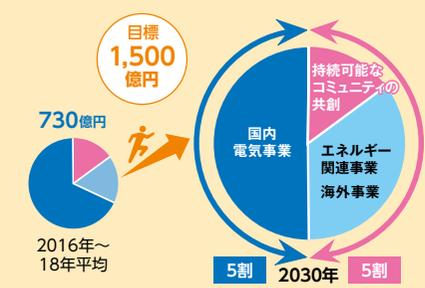
視点	参考指標※1(2025年度)
収益性	ROE :8%程度
	総販売電力量 :1,050億kWh
成長性	成長投資 :5,000億円※2 ・再エネ(再掲):2,500億円※2
	FCF:700億円(5か年累計で黒字を確保)
発電出力	・再エネ開発量 :400万kW ・海外発電持分出力:400万kW

※1:経営上重視する指標等について、財務目標達成時の水準感を示したもの  
※2:2021~2025年度累計

## 「2030年のありたい姿」実現に向けた経営目標

経営ビジョン実現に向けた戦略の着実な推進に向け、2030年のありたい姿「九州から未来を創る九電グループ~豊かさ快適さで、お客さまの一番に~」につながる経営目標を設定

### 経営目標

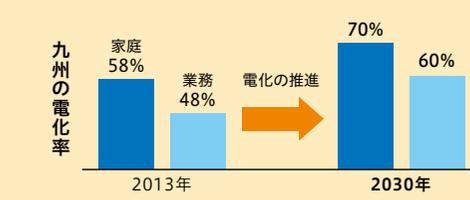
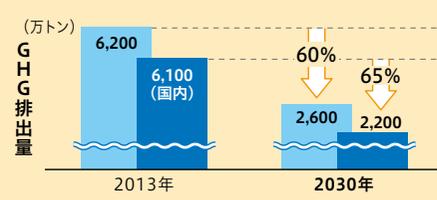


トップレベルの電気料金の持続的な追求

### 経営目標(環境目標)

**供給側** サプライチェーンGHG排出量を60%削減(2013年度比)  
国内事業は65%削減(2013年度比)

**需要側** 九州の電化率向上に貢献(家庭部門:70%・業務部門:60%)



## 九電グループの更なる企業価値向上に向けたROIC目標(詳細は P25 参照)

資本効率性の向上を通じて一層の企業価値向上を図る観点から、新たな経営指標としてROIC(投下資本利益率)を導入し、2025年度及び2030年度のROIC目標を設定

年度	目標
2025年度	連結2.5%以上
2030年度	連結3.0%以上

(注) ROIC = 経常利益(利払前・税引後) ÷ 投下資本(有利子負債 + 株主資本)